



6月の園だより

令和 7年 5月 30日
新宿区立四谷子ども園
園 長

「動物も人間も」

主任

先月、5歳児と一緒に井の頭自然文化園遠足に一緒に行ってきました。こじんまりとした動物園を、グループごとに回りました。子どもたちは「フクロウ寝てるね。ずっとジューツとしてるよ」「フェレット、耳が大きくて可愛い」「サルのお尻って赤くてふくらんでるよ、木登り上手だね」「リスがピューツと走ってきた、しっぽフワフワしてる」などと、夢中になって見ていました。

お待ちかねのお弁当タイム。皆で円になって食べていると「アリがきたー、やだ、お弁当に入っちゃう」と言う子に、「殺しちゃだめだよ。生きてるんだから。こうやって近くを叩くといいよ」とレジャーシートをパンパンと叩いてアリを遠ざけて見せる子がいました。すると「アリにも心臓があるの?」「あるんじゃない?」「生きてる生き物にはみんなあるよ!」「すごいちっちゃい心臓かな?」という話になりました。

この日の遠足は、「生き物に興味・関心をもつ」というねらいをもって行きました。動物も個性豊かでそれぞれ顔も体も動きも違っていろいろいるから楽しい、そしてその事はいずれ人間も同様に生まれた国・性別・肌の色・話す言葉も様々という多様性を認める心につながっていくことでしょう。また小さなアリの命の話をしたことは一人一人一匹一匹…それぞれに大切な命があることに気付き「命」というものを考えるきっかけになりました。この経験が思いやりの心を養い人権意識につながるのではと思いました。

今年度も、私達教職員はこの人権を大切に、常に園児を肯定的に捉えるという目標を立てて考え、話し合い教育・保育を進めています。子どもの人権が保障された関わり方や環境に配慮し、誰もが安心して園生活を送れるようにしていきたいと思います。



ゆめ組(0歳児)

- ・一人一人に合わせた食事や睡眠のリズムをつくり、一日を心地良く過ごす。
- ・保育者と安心して過ごしなが、興味のあるものに触れたり、体を動かしたりして遊ぶ。

はな組(1歳児)

- ・安心できる環境の中で、好きな遊びを見付けて楽しむ。
- ・保育者と一緒に様々な素材に触れて遊び、感触を楽しむ。

おひさま組(2歳児)

- ・保育者に見守られながら、身の回りのことをやってみようとする。
- ・戸外で探索活動を通して、保育者や友達と関わって遊ぶことを楽しむ。

にじ組(3歳児)

- ・保育者に見守られながら、正しい姿勢・スプーンの持ち方で食事する。
- ・様々な教材に触れ、作ることを楽しんだり、砂・泥・水などの感触に触れて遊んだりすることを楽しむ。

もり・やま組(4歳児)

- ・プールのきまりや約束事を知り、水に親しむ。
- ・好きな遊びをする中で、友達との関わりを楽しむ。

うみ・そら組(5歳児)

- ・友達とイメージを共有し、互いに思いを伝えながら、遊びを進めていこうとする。
- ・水に親しみ、感触を十分に味わう。